

地域再生計画の事後評価について

都道府県名	岐阜県	事業実施主体	岐阜県、関市及び郡上市	地域再生計画名	「人と自然が調和した交流文化のまちづくり」
計画期間	平成22年度～平成26年度	事業期間	平成22年度～平成26年度		

①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標	基準値		目標値		実績値		評価	達成状況に関する評価	
		基準年度		年度		基準年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1-1	農産物直売所の販売額を301百万円から317百万円に向上(郡上市)	301百万円	H20	317百万円	H26	356百万円	H26	○	朝市・直売所数は1箇所ずつ減ったが、目標の販売額を達成できた。
	指標 1-2	年間利用間伐実施面積10%増加(関市板取地区)	15ha	H20	17ha	H26	144ha	H26	○	補助金交付の制度移行により利用間伐の実施面積が大幅に増加した。
	指標 1-3	年間利用間伐実施面積10%増加(関市洞戸地区)	70ha	H20	77ha	H26	109.8ha	H26	○	補助金交付の制度移行により利用間伐の実施面積が大幅に増加した。
	指標 1-4	年間利用間伐実施面積30%増加(郡上市)	140ha	H20	170ha	H26	575ha	H26	○	補助金交付の制度移行により利用間伐の実施面積が大幅に増加した。
	指標 2	広域農道及び市道沿線の住環境及び農業基盤満足度の10%増加(郡上市)	49.8%	H22	10%増	H26	62.0%	H27	○	満足度アンケートを平成27年度に実施した結果、満足度は12.2%の増加。
	指標 3	道の駅立ち寄り客数の5%増加(郡上市)	1,394千人	H20	1,464千人	H26	1,550千人	H26	○	郡上市は夏は踊りと鮎友釣り、秋の紅葉、またスキー、スノーボード等のウィンタースポーツ、と年間を通じて市への入り込み客数が多く、道の駅立ち寄り客数に変動はあるが少しずつ増加している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1	災害時の迂回路の確保(郡上市)								一部南部広域農道開通により、災害時の迂回路が確保された。
	指標 2									
③事業の進捗状況	事業名	整備量(その他の事業では取組内容)		目標の達成に対する評価及び今後の対応						
特別措置を適用して行う事業	市町村道事業(整備延長)(郡上市)	7,268m	6,442m	他事業により整備が実施されたことにより本計画による整備量は減少したが、全体的には計画に近い整備が実施できた。今後も引き続き事業実施を行いたい。						
	県営広域営農団地農道整備事業郡上南部地区(整備延長)(郡上市)	2,916m	2,916m	トンネル区間が明かり路線となり、整備延長が伸びた。計画変更により用地交渉及び関係機関との諸手続きに時間を要したので進捗率が多少落ちた。関係機関との諸手続きも終了しているので、引き続き事業実施を行いたい。						
	公共林道事業(整備延長)(関市・郡上市)	13,733m	13,264m	急峻な箇所が多くあることと、地質が悪く施工箇所の崩壊等の対策施工に事業費がかかり、計画通りの進捗が図られず延長が伸びない路線もあったが、全体的には計画に近い整備ができた。今後も引き続き事業実施を行いたい。						
その他の事業	水土里の路ウォーキング事業(郡上市)	毎年1回郡上市旧7町村のウォーキングを実施		過去4回計画し、3回実施した。地域住民とともに都市住民を対象としたウォーキングを行うことにより、農業関連施設の役割、地域特産品の歴史など、農業・農村の果たす様々な多面的機能や農村地域の魅力を体感していただき、誘客数を増加させるため、今後も計画していきたい。						
	林道や作業道等の路網整備の促進(郡上市)	間伐等の森林整備を効率的、効果的に実施するため、必要な林道や作業道等の路網整備の促進		作業路開設実績平成23年度は54路線20,937m平成25年度は54路線21,477mとなった。森林所有者への利用間伐の啓発活動を実施した結果、間伐作業路の路網整備が増加したと思われる。今後も啓発活動を実施し延長の延伸を図りたい。						
	地域活力基盤創造交付金事業(郡上市)	地域活力基盤創造交付金を活用し、市道生屋区内1号線バイパスの整備促進		平成21年度より着工し現在延長860m(未成)整備されている。他事業により事業が実施されるため整備量は減少したが、H29に完了する見込みである。						
計画外で独自に実施した事業										
④計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した効率的な整備を図り、南部広域農道事業については、一部計画の見直しにより当初より進捗が進めることができたが、市道としては、一部計画をみなおしたため計画延長が短縮された。この整備により、道路ネットワークが構築され農産物直売所の販売額及び年間利用間伐実施面積、道の駅立ち寄り客数の目標は達成した。また、農林産物生産の体験、自然に癒される体験などを通じた滞在型観光の実施により多少ではあるが、移住者が増えてきた。									